

研究実施のお知らせ

研究課題名:ボーラストラッキング法による2相性造影剤注入法(BT-DPI)を用いた、冠動脈・大動脈の同時撮影における Adamkiewicz 動脈の同定

研究期間: 仙台市立病院倫理審査委員会承認後～令和8年11月30日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された既存試料・情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

- ・令和7年4月1日から令和7年12月31日の期間に当院心臓血管外科および循環器内科にて手術前精査目的で冠動脈・大動脈同日撮影において造影CT検査を受けた方
- ・令和7年4月1日から令和7年12月31日の期間に当院心臓血管外科の手術前精査で大動脈・Adamkiewicz 動脈の精査目的で造影CT検査を受けた方

【研究の目的と意義】

動脈硬化疾患では、大動脈・冠動脈の精査を行う方法として造影CTがあります。CTの特性上、この二部位を同時に撮影することは難しいとされていますが、その撮影手法としてボーラストラッキング法による2相性造影剤注入法(BT-DPI)があり、令和7年3月の装置更新に伴い当院でも採用されています。また、動脈硬化疾患の手術では疾患部位や手技の種類によって、脊髄を栄養している主要血管である Adamkiewicz 動脈の術前精査は重要であり、CTにて精査するには撮影タイミングや血管の細さなどから未だに明確な検査方法が確立されていません。

今回、大動脈疾患術前精査目的で、DPI法を用いた大動脈・冠動脈の同日CTを行った症例で、同時に Adamkiewicz 動脈の描出が確認され、この手法を用いることで同日に大動脈・冠動脈および Adamkiewicz 動脈を検査できる可能性が示唆されました。患者さんの造影剤量低下や被ばく量低下、来院・検査回数の減少、手術の安全性等につながるため、DPI法を用いた Adamkiewicz 動脈の同定が可能かどうかを検証することを目的として、本研究を実施します。

【研究の方法】

令和7年4月1日から令和7年12月31日の期間において手術前精査目的で冠動脈・大動脈同日撮影において造影CT検査を受けた方および大動脈・Adamkiewicz 動脈の精査目的で造影CT検査を受けた方のCT画像データから、冠動脈・大動脈・Adamkiewicz 動脈の描出能について検証します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

電子カルテに登録された患者情報(年齢・性別・身長・体重)、CT画像を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

この研究は、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

【研究の実施体制】

研究代表者：

仙台市立病院 放射線技術科 佐々木 康太

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、本研究で得られた情報は、二次利用または関連する多施設研究のために他の研究機関に提供する可能性があります。その場合には改めて研究計画書を作成し倫理委員会の審査を受け、適切なインフォームド・コンセントの手続きを行います。

【問合せ先】

仙台市立病院 放射線技術科

科長 小林 裕一

研究代表者 診療放射線技師 佐々木 康太

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話:022-308-7111(代表)